

## ゼミ座談会

# 京大生が提言する 効果的なインターンシップのあり方

## 「短期インターンシップはミスマッチを助長する」

### ■「就活」を研究する学生たちの声

人口減少時代に突入し、売り手市場が続くことが想定されるなか、企業は優秀な新卒人材をいかに獲得するか腐心し、インターンシップなどにも積極的に取り組んでいます。これら企業の取り組みは、肝心の学生たちにはどのように映っているのでしょうか。京都大学経済学部の関口ゼミ（関口倫紀教授）で、「就活」をテーマに研究に取り組む学生たちの問題意識や彼らが提言するインターンシップのあり方を聞いてみました。（各務）

- 【インタビュー】 京都大学経済学部 関口ゼミ「就活研究チーム」  
稲村大（4回生）、橋本茉奈（3回生）、板津翔唯（3回生）、  
小宮山太一（2回生）、大谷竜斗（2回生）
- 【オブザーバー】 関口倫紀 教授
- 【聞き手】 株式会社グローディア 代表取締役 各務晶久

### 主な内容

- オタクの経済学からエージェントシミュレーションまで、多彩な関心を持つ今どきの京大生
- 友人のあまりの変わりようから芽生えたインターンシップへの疑問
- ファーストキャリアの重要性に注目
- 「やりがい」の強調はかえってミスマッチを助長する
- インターンシップの現実
- インターンシップをどう変革するか
- もっと採用プロセスの透明化を
- 就活の早期化は反対だが、社会との接点が早まることは歓迎
- 就活への焦り
- 重視するのは企業名か職種か
- 終身雇用かバリキャリアか
- 「組織内の昇進に興味なし」—多様化する職業観
- 今どきの京大生に人気の業種は
- 就職先選定で重視するもの
- 意外に控えめなグローバル志向
- 優秀な若者を惹きつける日本企業とは